ムスビの会ニュース

発行
ムスビの会
出版部

11 月の月齢
新月　11/5
上弦　11/11
満月　11/19
下弦　11/27

宇宙生理学入門⑳　ワクチンとの調和

コロナワクチンの危険性

日本で、新型コロナワクチンを接種した人が人口の半数を超えました。ファイザー社やモデルナ社、アストラゼネカ社などが提供している新型コロナワクチンはまだ治験中のもので、緊急事態ということで暫定的に承認されています。体外で抗体を作って人体に注入する従来のワクチンと異なり、人間の遺伝子に働きかけ、人体で抗体を生産させるという全く新しい遺伝子組み換えワクチンです。したがって、どのような副作用が起きるかというデータがなく、現在は接種を行いながら人体実験をしている状態です。

これらのワクチンには、安定化剤としてアナフィラキシーショックを引き起こす危険性があるナノ脂質分子のPEG(ポリエチレングリコール)が含まれ、表示成分には記載されていない酸化グラフェン(ナノ化した鉛成分)が電気誘導体として含まれているという報告もあります。何回か接種して化学物質の濃度が上がった時に、さまざまな副作用が生じるようです。

副作用として多いのが接種部の腕の痛みや筋肉痛、疲労や頭痛、発熱、関節の痛み、悪寒、吐き気などです。他にも血栓によって突然死を引き起こす心筋炎、身体内で作られた抗体が自らの身体を攻撃する自己免疫疾患の発生も危惧されています。また、ワクチン接種した人からスパイクタンパクが飛び散り、周りの人が不正出血を起こすといったシェディング症状も懸念されます。ちなみに、ファイザー社のワクチンの治験に使われたネズミの内、80 %が 24 時間以内、残りのネズミは一週間以内にすべて死亡したそうです。

発汗と食事による解毒法

もしワクチンを接種した場合は、不要なものを体外に排泄する発汗作用を活用してください。体内に侵入した農薬や食品添加物、環境ホルモンといった化学物質や水銀、カドミウムなどの重金属類、放射性物質は発汗によってかなり排泄できることがわかっています。福島県では原発事故以降、甲状腺がんや白血病といった被ばくによる症状が増加していますが、肉体労働者にはそうした被害が少ないそうです。なぜなら、労働で発汗しているからです。

運動や肉体労働で発汗できない場合は、入浴によって汗をかくとよいでしょう。その際、発汗を促進し、皮膚からの老廃物の排泄を促す自然塩や重曹を湯船に入れるとさらに排泄力が増します。接種後に皮膚に痛みがある場合は、里芋湿布に少量の梅干しの黒焼きを混ぜて患部に貼ると、炎症を引き起こしている原因物質を吸着してくれます。

筋肉内に注入されたワクチン成分は、リンパ管を通じて全身を循環し、最終的に脂肪細胞に蓄積します。したがって、脂質代謝を良くして体外に出せれば、化学成分も同時に排出されます。この働きを良くするのが植物に含まれる葉緑素と米糠で、今、松葉が注目されていますが、それ以外にヨモギやすぎな、クマザサ、マコモ、クロレラ、スピルリナ、ほうれん草、小松菜、玄米といった葉緑素や食物繊維を豊富に含む野草や野菜、海藻、穀物も有効です。

さらに、発酵食品には解毒発酵という働きがあり、体内の有害物質を排泄してくれるので、日々の食事の中に、伝統製法で作られた味噌や醤油、漬物、梅干し、お酢、みりん、塩麹、甘酒といった発酵食品を多めに用いるようにすると、体内浄化につながります。

炭を使った還元法

人体内で有害な作用をもたらすものは電気的に酸化しています。毒性物質＝酸化物質と言ってもよいでしょう。酸化とは血液や体液から水素電子を奪う働きで、奪われた組織は本来の働きが失われて劣化や腐敗、老化していきます。それに対して、水素電子を与える働きを還元といいます。酸化した細胞を還元してあげれば、元通りの元気な状態に戻ります。還元＝解毒といってもよく、発酵食品や葉緑素はこの還元力が強いです。

なかでも、特に還元力が優れているのが炭で、マクロビオティックでは玄米や梅干し、昆布の黒焼きを昔から活用してきました。ワクチンの副作用と思われる心臓血管系の血栓予防には黒炒り玄米スープに少量の梅干しの黒焼きを、子宮や卵巣、精巣、腎臓といったホルモン系の副作用(不妊症など)の予防には昆布の黒焼きを少量入れて服用します。

そして、何よりも不安や心配は免疫力を下げます。たとえワクチンを接種しても体内を浄化する対策をしっかりとっておけば大丈夫です。気持ちを明るく持ち、マクロビオティックを活用した対策で長引くコロナ禍を乗り切りましょう。

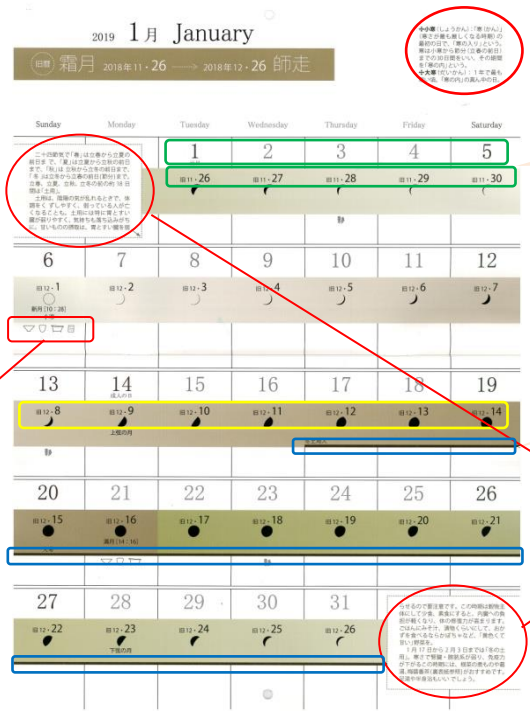
ムスビの会　岡部賢二

月を意識して健やかな心とからだを手に入れよう

私たち地球上の生命は、月の影響を受けています。例えば、カニやウミガメ、珊瑚は満月の夜に産卵しますし、植物の成長や私たち人間の生（出産）死にも関係しています。昔の人は、月が生命に与える影響を感覚的に知っていたからこそ自然のリズムにそった暮らしをしてきました。自然のリズムを無視し便利になった現代、多くの人が心身になんらかの不調を感じています。生活の中に月のリズムや旧暦、二十四節気を取り入れ、自然と一体となり、健やかな心とからだを手に入れましょう。

岡部賢二監修

月のリズムで幸せ暦
A4 サイズ（閉じた状態）
28 ページ・オールカラー
販売価格：1,400 円（税込）



おすすめポイント①
二十四節気の解説
身近に季節感を感じることができます。

おすすめポイント②
新暦と旧暦表示のダブル表示なので実生活でも使いやすい。

おすすめポイント③
月の周期（黄色）や土用（青）が一目瞭然！体調管理に便利！

おすすめポイント④
季節の養生法コラム
先人の智恵で健やかに！

おすすめポイント⑤
新月・満月におすすめをアイコン化
（デトックス食や塩浴、など）
プチ断食の習慣化におすすめ！

おすすめポイント⑥
裏表紙には玄米甘酒や梅醤番茶などのレシピつき

岡部賢二監修

月のリズムで幸せ暦　スケジュール帳
B6 サイズ（閉じた状態）
60 ページ・オールカラー
販売価格：1,400 円（税込）

いつも身近に月のリズムを感じていたい方にはスケジュール帳がおすすめ！月のリズムに合わせて美容院や旅行、仕事の予定をいれるのもいいですね。幸せ暦（カレンダー）にはない情報も掲載しています。

新暦と旧暦ってどう違うの？

新暦（太陽暦・グレゴリオ暦）
古代エジプトが起源。太陽の運行をもとにした暦。地球が太陽をひと回りする周期を 1 年とする。季節の流れには忠実だが、月のめぐりとは関連していないため、月の周期に影響される潮の動きや動植物の変化がわかりにくい。日本では明治 6 年から採用。現代のカレンダーの殆どを占める。

旧暦（太陰太陽暦）
中国が起源。太陽と月の両方の周期を取り入れた暦。月の満ち欠けをもって 1 ヶ月とする。新暦（太陽歴）より 11 日短くなり、季節がずれるので、32～33 ヶ月に一度うるう月を設けることで、ずれを調整。今でも農業や漁業で活用されています。

ムスビの会 HP はこちら